

今週の富大生

# Weekly TOMIDASEI

第26号

工学部 工学科  
電気電子工学コース  
3年  
富山県立富山高等学校  
(富山県)

「いつまで何をやるかが大切。」

大学で見つけた、夢中になれること

## やっていたい研究ができそう

最初は旧帝大の工学部を目指していました。医療工学の分野に当時は興味があって、それができそうなところのに進もうと思っていました。後期入試で富山大学の工学部を受験し、入学しました。

## 車には興味がなかったところから

大学入学後は、第1志望の大学ではないというところであまり沈んだ気持ちで過ごしていました。しかし、講義で偶然再会した中学の同級生が、フォーミュラプロジェクトに参加するというので付き合いで参加してみることにしました。

入ってすぐに、ある企業にプレゼンする役割を与えられました。それも自発的なものというより、「電気自動車のモーターの話だから、電気電子工学コースの村田が担当ね」という感じで(笑)。1, 2, 3年から一人ずつ電気電子の先輩と一緒にプレゼンすることになったのですが、1年目の僕はスケジュール感もつかめなくて。先方も、最初は「これじゃ無理だね」というとても苦い反応でした。

## 成功体験を重ねてどんだんのめり込む

先ほどのスポンサー企業へのプレゼンは好感触とはとても言えない反応でしたが、最終的には熱意が通じたのかモーターを提供していただけることになりました。その出来事をきっかけに、実践的な活動もどんどん増え、実際に自分たちで作った車を走らせ、フォーミュラでの活動にのめり込んでいきました。

熱中できることに出会って、今では車も大好きです。まだ未定ですが、これから先はフォーミュラで学んでいることを活かせる研究室に入れたらいいなと思っています。フォーミュラとの活動を通して、大学は、「どこに行くか」ではなく、「何をやるか」が大切だということに気づきました。

## リーダーとしての準備期間

昨年の大会後に、次期リーダーは僕になることが決まっていた。組織運営をきちんとするため、時間をかけて計画を練りました。

計画的に作業が進むように、参加している学生がモチベーションを保てるように、どうすればよいかを考え、各セクションのリーダーとの話し合いを何度もしました。週に1度のミーティング、中間報告会の機会を設けて、いつまでに何をどうするか明確にするよう心掛けました。みんなのベクトルが違うところを、足並みをそろえるのが今の僕の仕事です。



## 来年の大会に向けての抱負

正直に言えば、活動をやっていて楽しくないことややりたくないこともたくさんあります。

それでも「マシンを走らせたい」一心でみんなで頑張っています。来年の大会では複合コース、オートクロスの部門で歴代最速のタイムを残すことが目標です！ガソリンよりも速く走れる自信があります。